

沖縄県島尻郡伊是名村勢理客の綱引きの研究

A study of tug-of-war of Okinawa Prefecture Shimajiri-gun Izena-son serikyaku

1k07b144-2

寺田慎平

指導教員 主査 寒川恒夫先生

副査 リー・トンプソン先生

【目的】

沖縄県島尻郡伊是名村勢理客の綱引きを調査した。勢理客地区の綱引きは旧暦6月15日の稲大祭、豊年祭で行われる。伊是名村の他の地区では旧暦6月17日、25日に綱引きを行われ、村の稲大祭で綱引きを行うのは勢理客地区のみである。勢理客地区が何らかの理由で宗教的権威性を持ち、さらに豊年祭の綱引きによって村民に対して地区の宗教的権威性を保証・可視化しているのではないかという疑問をもった。

本研究ではまず勢理客地区の豊年祭・綱引きの概要を述べた後、勢理客が宗教的権威性を持った所以といかに宗教的権威性の保証・可視化しているかを明らかにすることを目的とした。

【方法】

インタビューや伊是名村に伝わる民話、歌を調べることを中心に調査を進め、補足として村史などの書籍を利用した。伊是名村は琉球王朝・第二尚氏の尚円王の出身地であり、数多くの神事が古くからの形を残して現在も行われている。また伊是名村は沖縄で有数の稲作地帯でもある。

そのため、インタビュー調査や民話、歌を収集する際には尚円王にまつわる話や神事における地区間の関係、年中行事での位置づけお米に関する伝承など幅広く集めることを心がけ、多角的に勢理客の宗教的権威性を形成した要因、そして綱引きが宗教的権威性をいかに保証・可視化しているか、明らかにできるように努めた。

【結果】

①祭りの日程に関して、仲田や伊是名地区は2、3年前から新暦の土曜日に祭りを行うようになったのに対して、勢理客は旧暦6月15日、つまり村の稲大祭の日に必ず豊年祭を行わなければならない。さらに勢理客が豊年祭を行わなければ、他の地区は豊年祭を行えないという言説もあった。

②尚円王（松丸）と勢理客には大きな関わりがあった。松丸は島にいたころ勢理客の女性に思いを寄せ、同じように勢理客の女性は松丸を恋慕っていて、この趣旨の歌が数多く残っている。さらに松丸の生まれは諸見地区であるにも関わらず、王家の墓・玉御殿は

最初、勢理客地区に建立されている。

③伊是名村は稲作地帯として知られている。中でも勢理客には稲作の神様土帝君（村に二体あるうちの一体）が勧請されている。もう一体は諸見にあり、松丸が使用していた水田（逆田）の近くにある。このため土帝君が唐から勧請された時期を考えると松丸のゆかりの地に土帝君が勧請されたと推測できる。

④勢理客は昭和15年から日本の皇室にお米を納めていた時期がある。

⑤勢理客ではイルチャヨーという村一番の神事が旧暦8月11日に行われる。イルチャヨーは航海安全を祈願する祭りで、村の全神職者が集まって儀式が執り行われる。

以上のような理由で勢理客が宗教的権威を持つに至った。また豊年祭は村民の多くが参加する祭りで年中行事・神事の中で、もっとも規模が大きく村民に近い祭りであるといえる。この祭りで前述のような村の稲大祭の日の勢理客の豊年祭が村の豊年祭の始まりとなっていることは、米どころの伊是名村において重要な意味をもつ。これが勢理客の宗教的権威性を保証・可視化する理由である。また綱引きが多くの人々が楽しく参加しやすい遊びの要素があることも村民に権威性が浸透しやすい要因としてあげられるだろう。

【考察】

本研究を通して、勢理客が宗教的権威を持った要因やいかに綱引きで権威性を可視化しているかが明らかになった。綱引きという人が親しみを持ちやすい遊びの要素の裏に重要な意味が隠れていることが分かった。民俗の祭りには綱引き以外にも様々な遊びの要素が含まれていて、裏に重要な意味が含まれている可能性がある。伊是名村勢理客の綱引きだけでなく、他の祭りで遊びの要素がいかに組み込まれているか、この点に注目していきたい。